

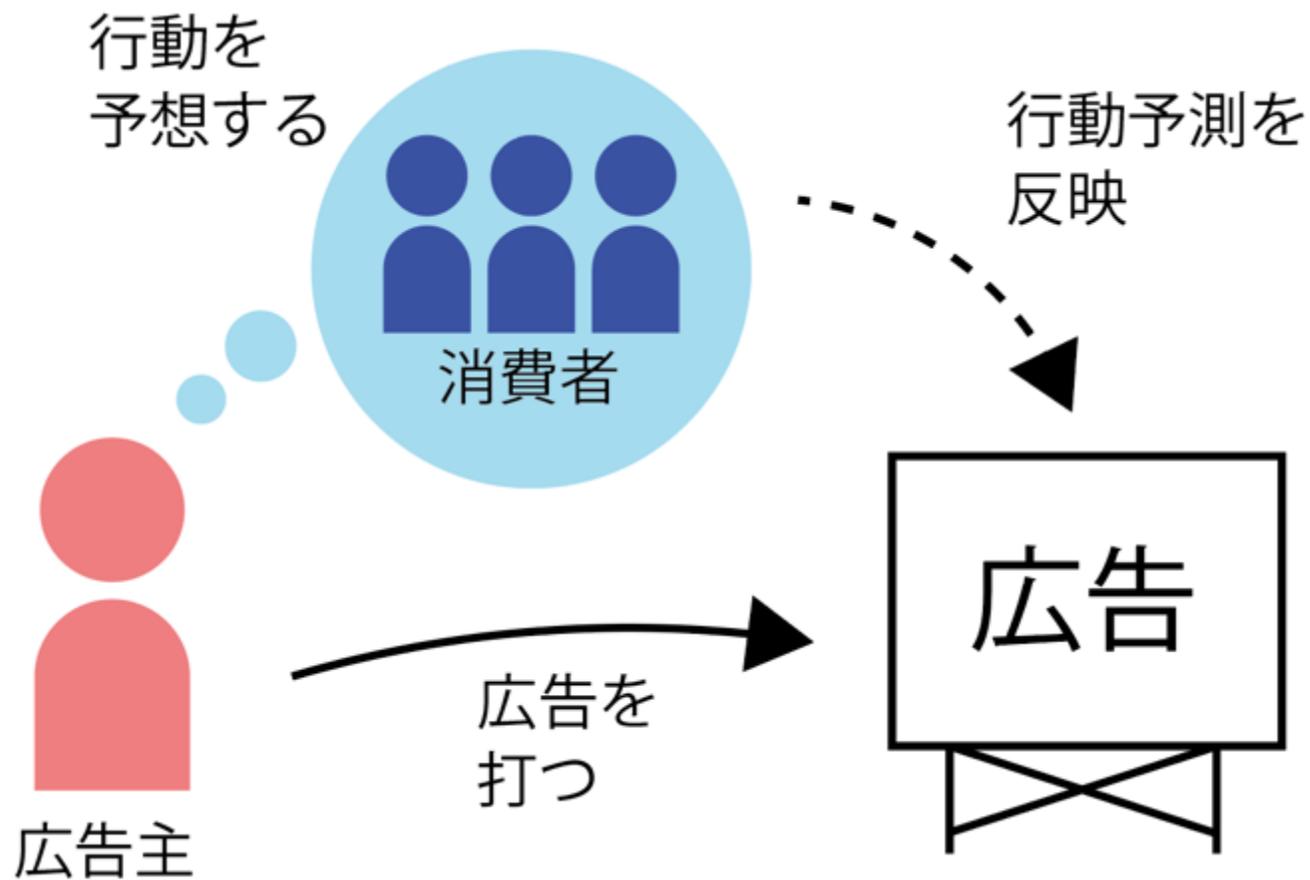
柚木街道・野猿街道における 野外広告物の分析

KotaNagatra / 永田拓渡



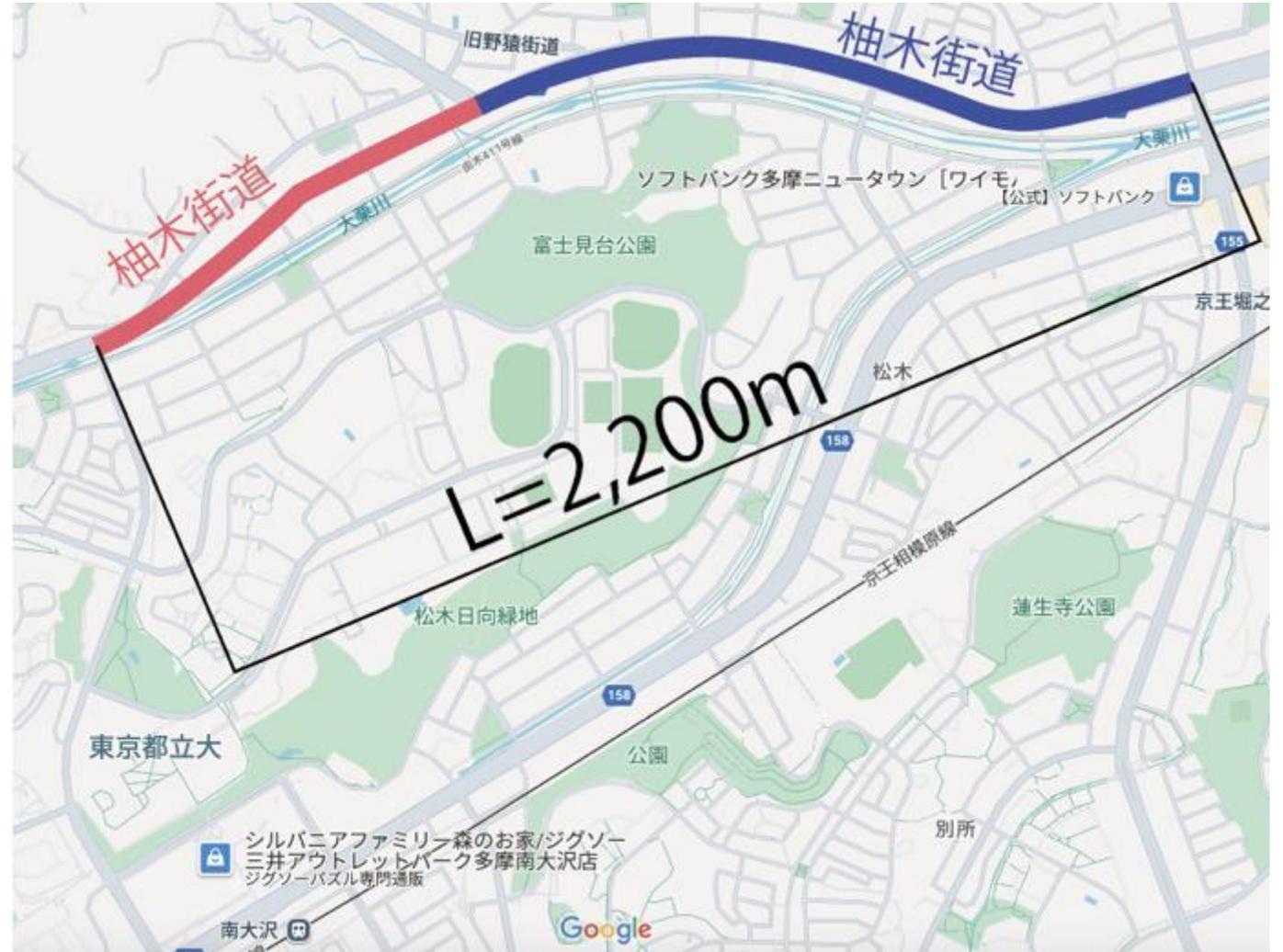
着眼点

- 市街地に溢れる野外広告物は、広告主のマーケティング戦略を直接反映するものである。
- 設置位置や特徴を分析することで、どのような層にアプローチしようとしているかを垣間見ることができると考えた。



対象地域

- 下柚木2丁目「大田平橋」交叉点から、堀之内2丁目「大栗川橋北」交叉点までの2,200m
- 片側2車線の幹線道路
- 電柱が残っているため、電柱広告を対象に含めることが可能。



対象看板

- 調査対象とする看板は、

A. 電柱看板

B. 看板

の2種類とする。

- 看板であっても、
駐車場の不動産業者
店舗敷地内の看板
は調査対象に含めない。



電柱看板



独立看板



対象外

調査方法

- Androidアプリ「GPS Logger」を使い、実際に対象道路に出向き、看板のデータを集めた

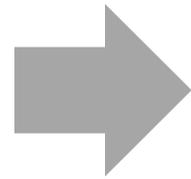
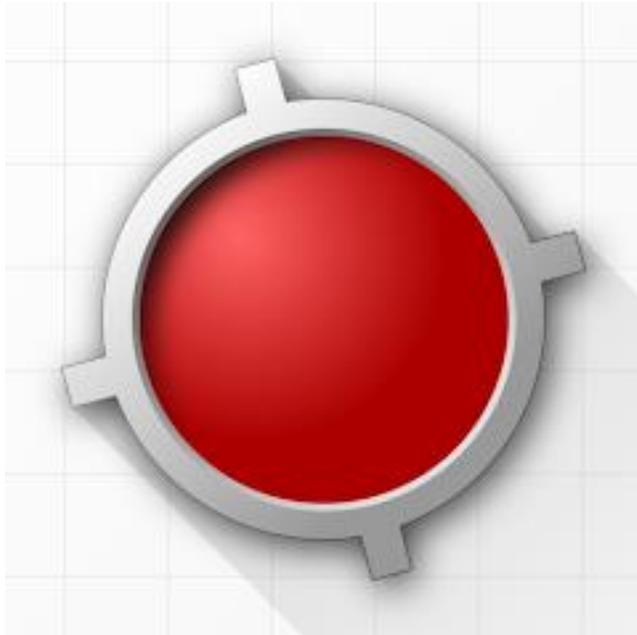
収集データ

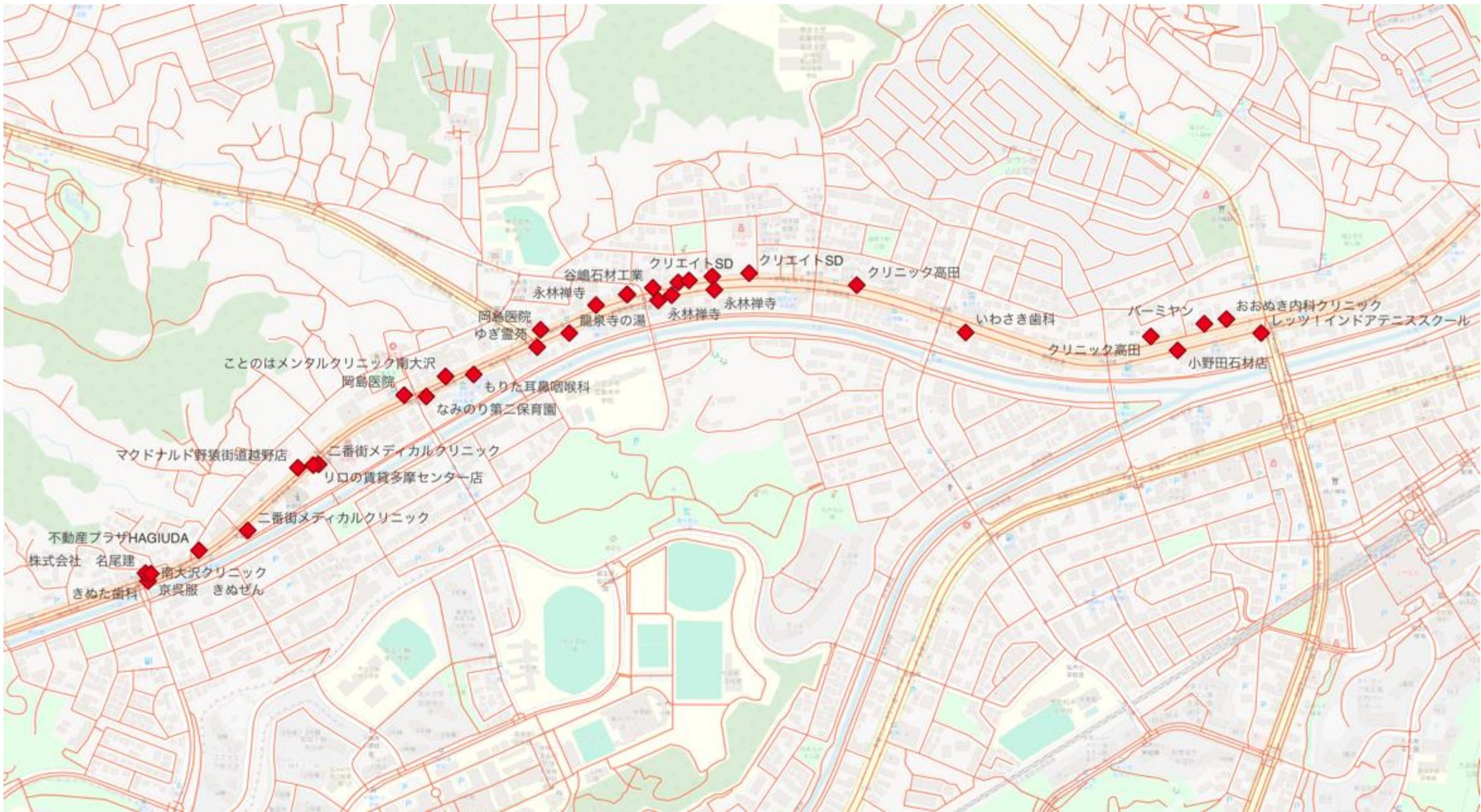
- **看板設置位置**（座標）
- **道路のどちら側か**
（堀之内方面：1、下柚木方面：2）
- **看板種別**
（電柱看板：1、独立看板：2）



分析方法

- アプリからgpx形式でエクスポート（GPSで汎用的に利用される形式）。QGISにインポートし、各種分析をかける

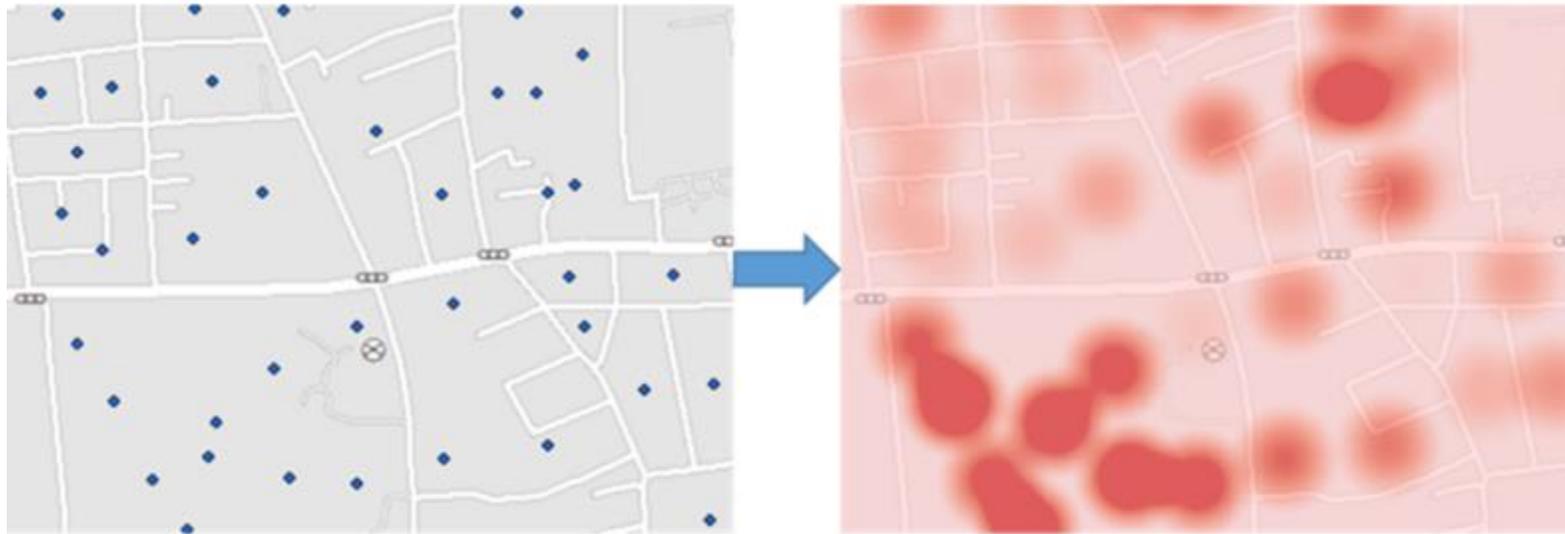




全収集データ (地物数34)

分析-1 カーネル密度推定

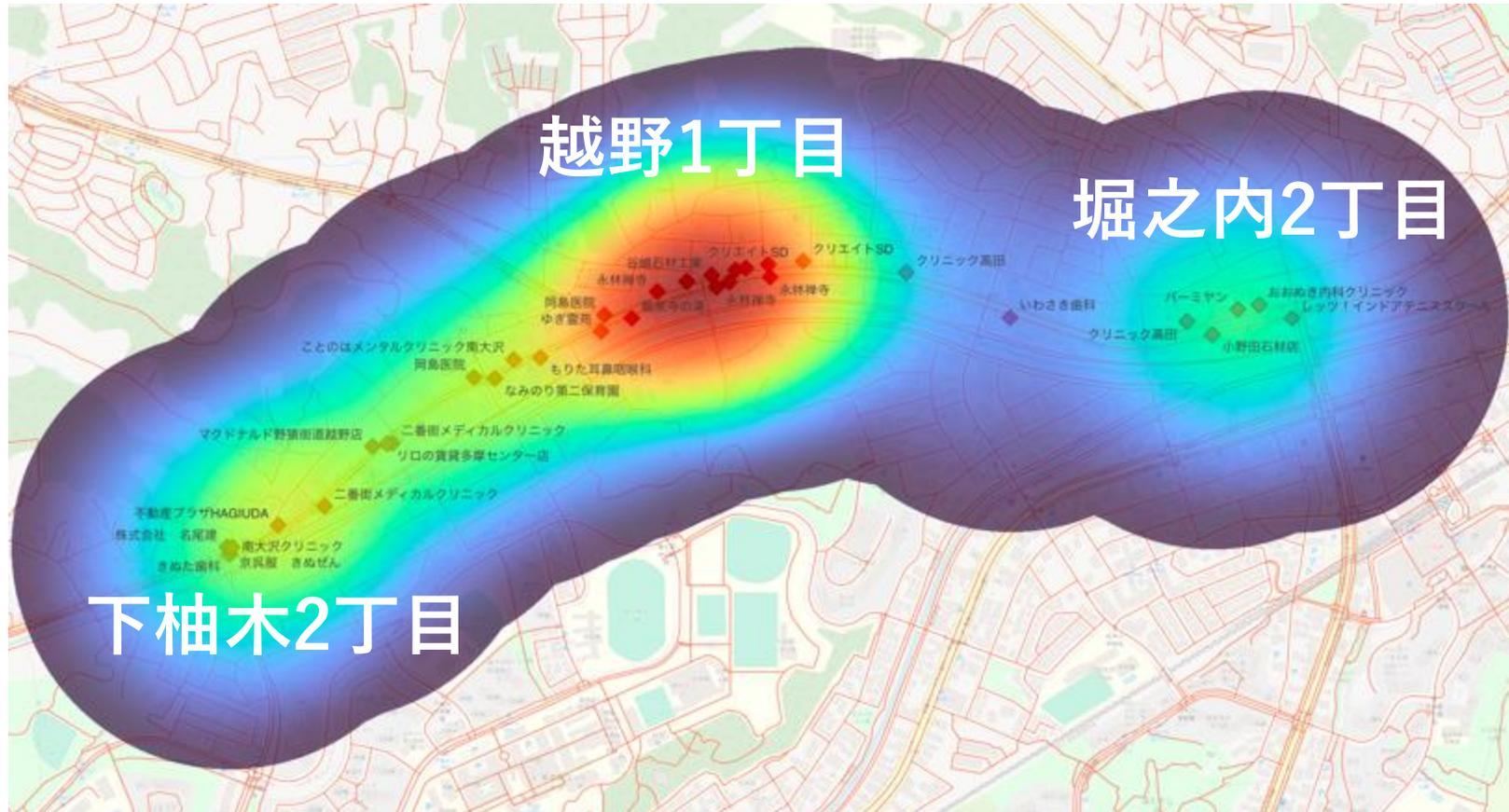
- ポイントデータの密度を評価する手法
- 全体の傾向の他に、方向・看板種類別の評価も行う



カーネル密度

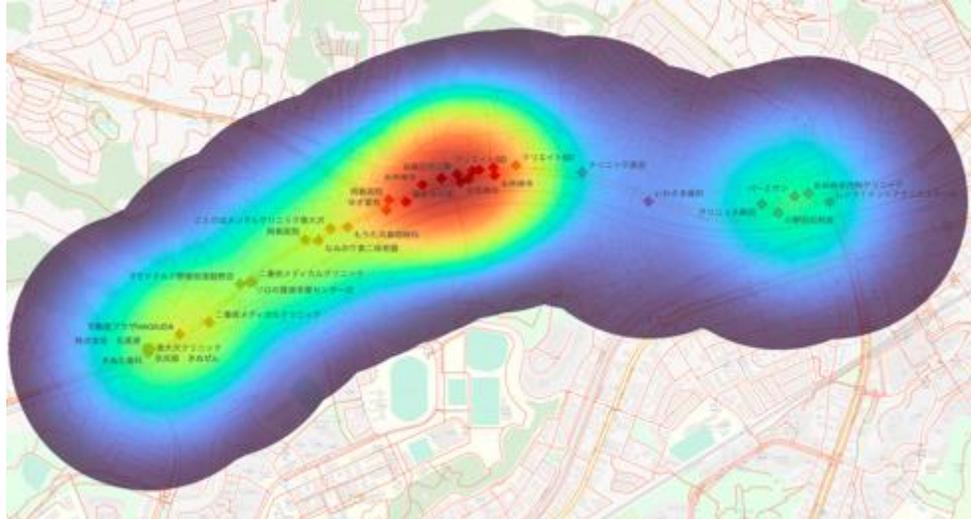
全体立地

- 赤色が濃いほど看板の密度が高い。
- 大きく3つの山が存在することがわかる。



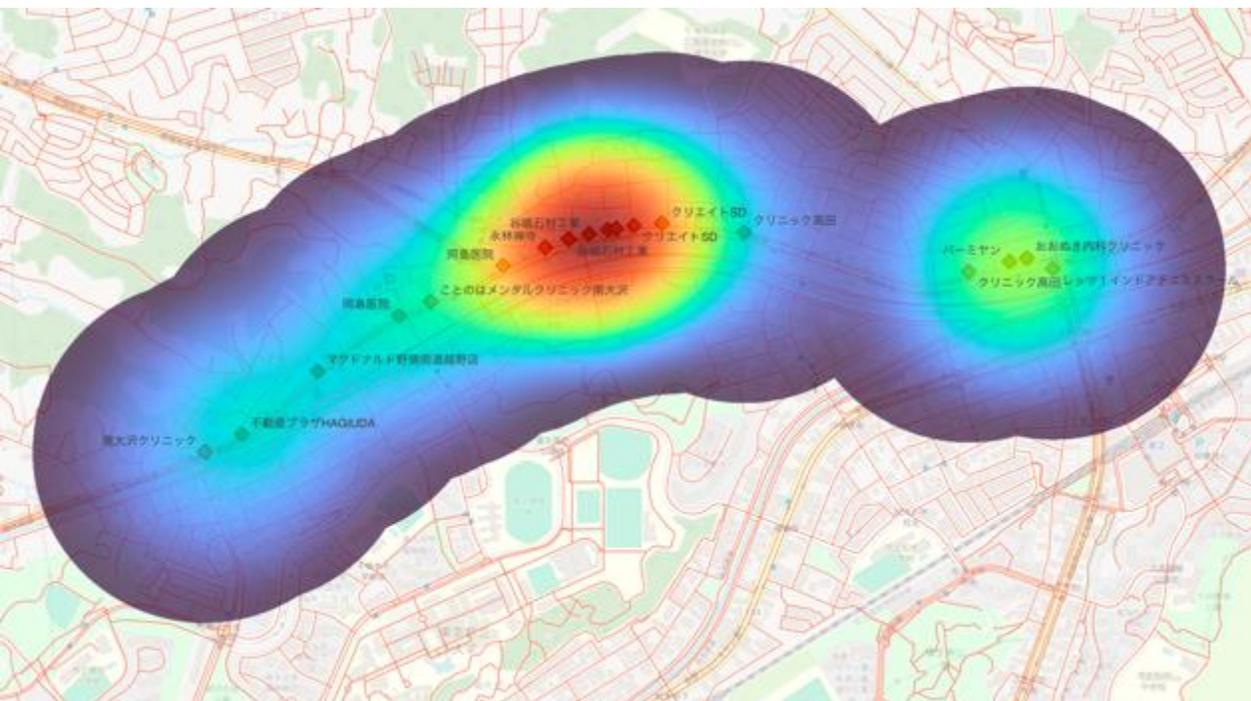
方向別

堀之内方面は、全体の分布とよく似た傾向を示す。

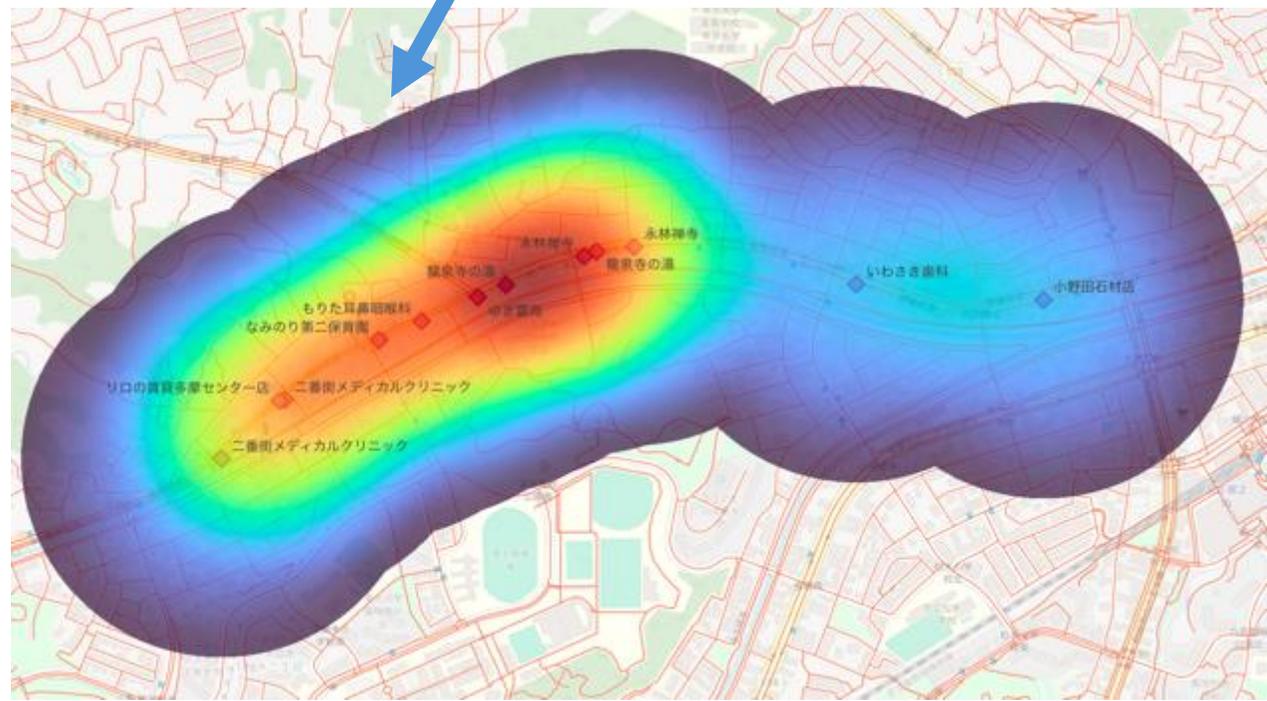


全ての点

下柚木方面に多く分布する傾向がある。



堀之内方面



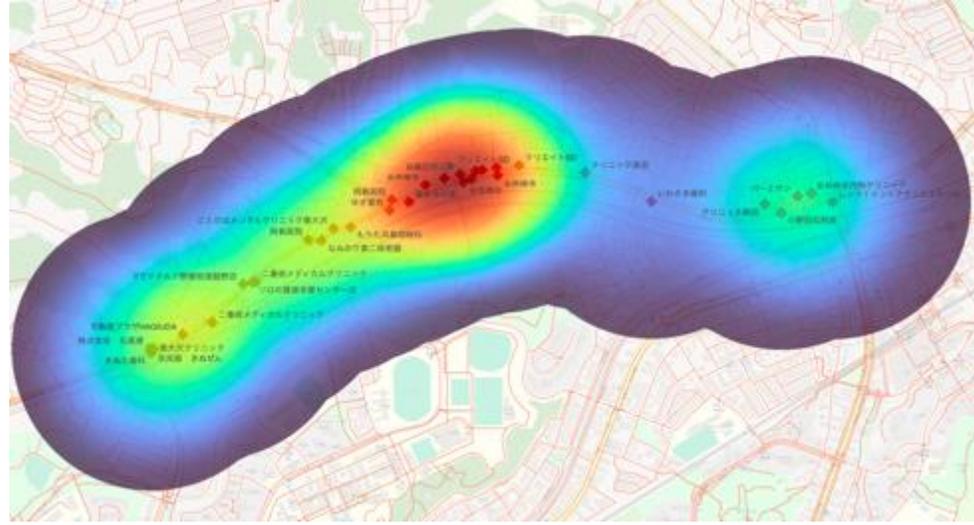
下柚木方面

方向別

- 下柚木方面は、南大沢駅が近いこともあり、駅に近づくほど駅周辺施設の広告が増えているのかと考えた
- しかし、下柚木に立つ下柚木方面の看板で南大沢駅周辺に立地する店舗のものは皆無である。
- したがって、方面別の分布傾向は誤差の範囲内であろう。
- しかし、野猿街道の合流点に広告が多いことは疑いようがない事実として認められる。

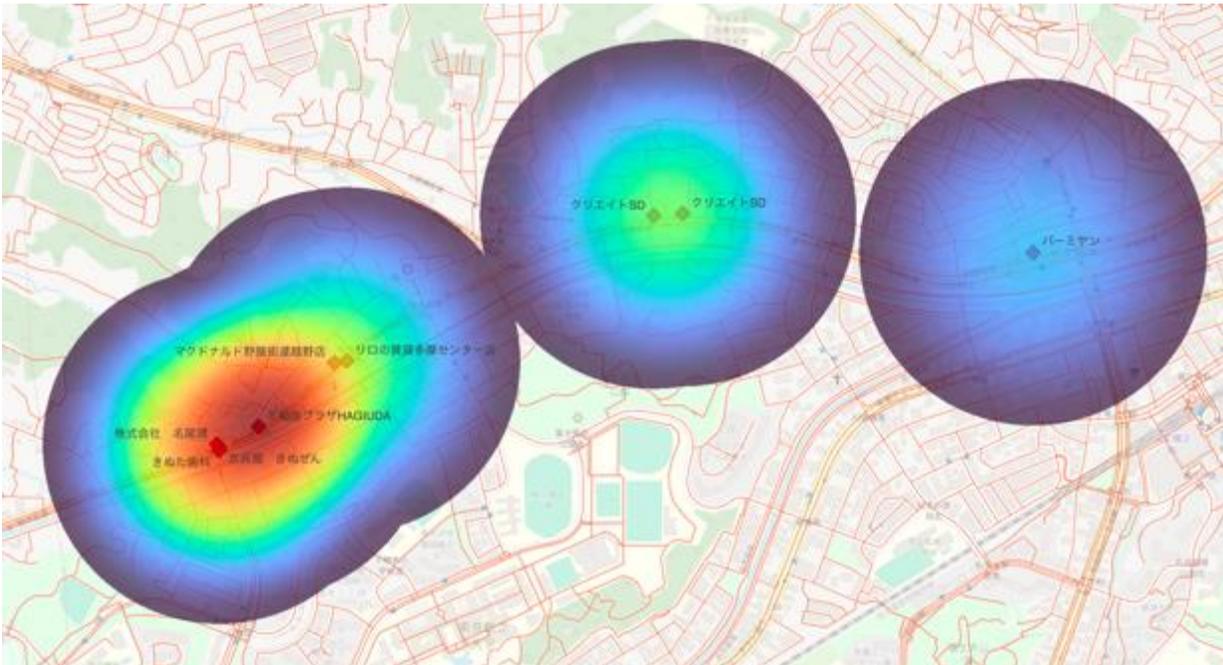
看板種類別

独立看板は下柚木
側に山がある

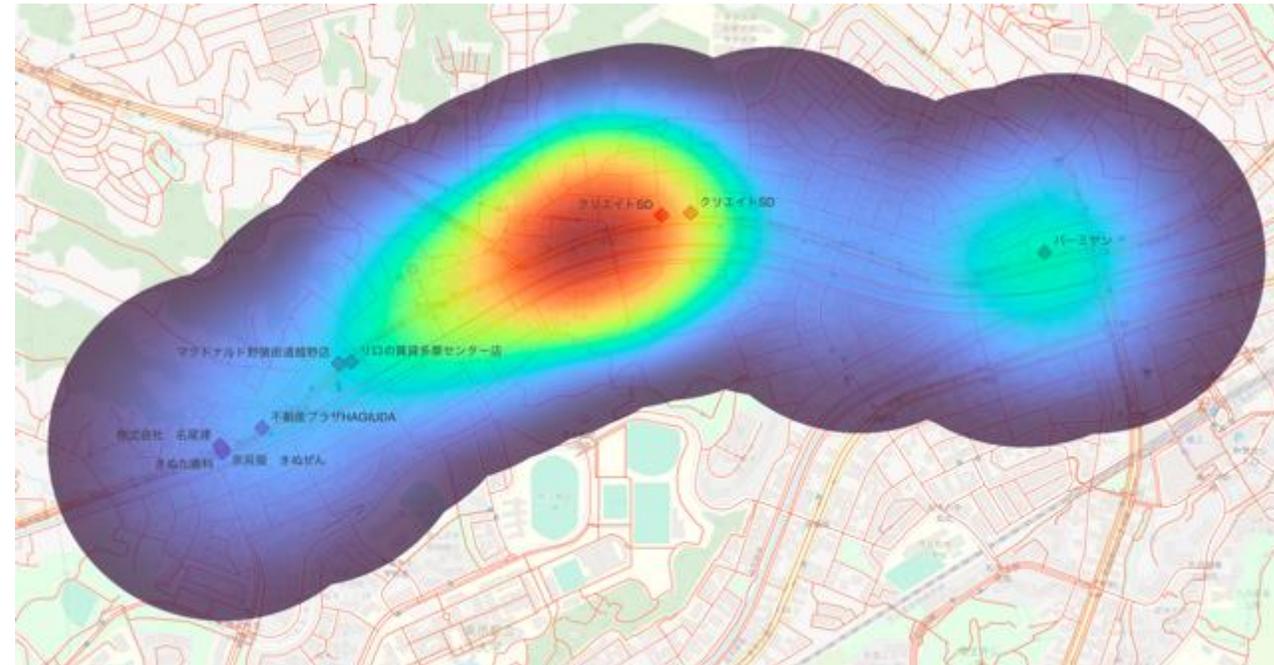


全ての点

電柱看板は野猿街
道合流点に山があ
る。



独立看板



電柱看板

分析-2 信号機との関連

- 車道沿いの広告は、信号待ちの車相手への訴求力を期待して設置されている可能性がある。
- 信号待ちの範囲を、交差点から30mとして（自動車6台分程度、法令により車線変更が禁止されている範囲）、その範囲内に存在する看板を抽出する。
- 道路全長に対する看板の存在密度と、交叉点付近の看板の存在密度を比較する。

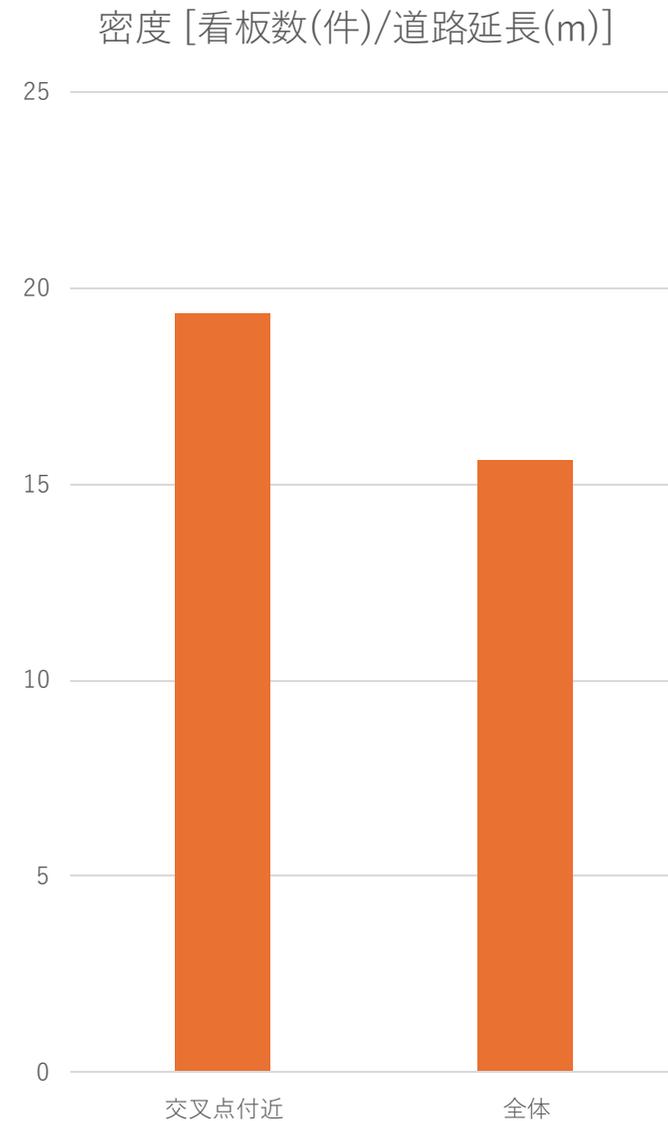
信号機



信号機のバッファ

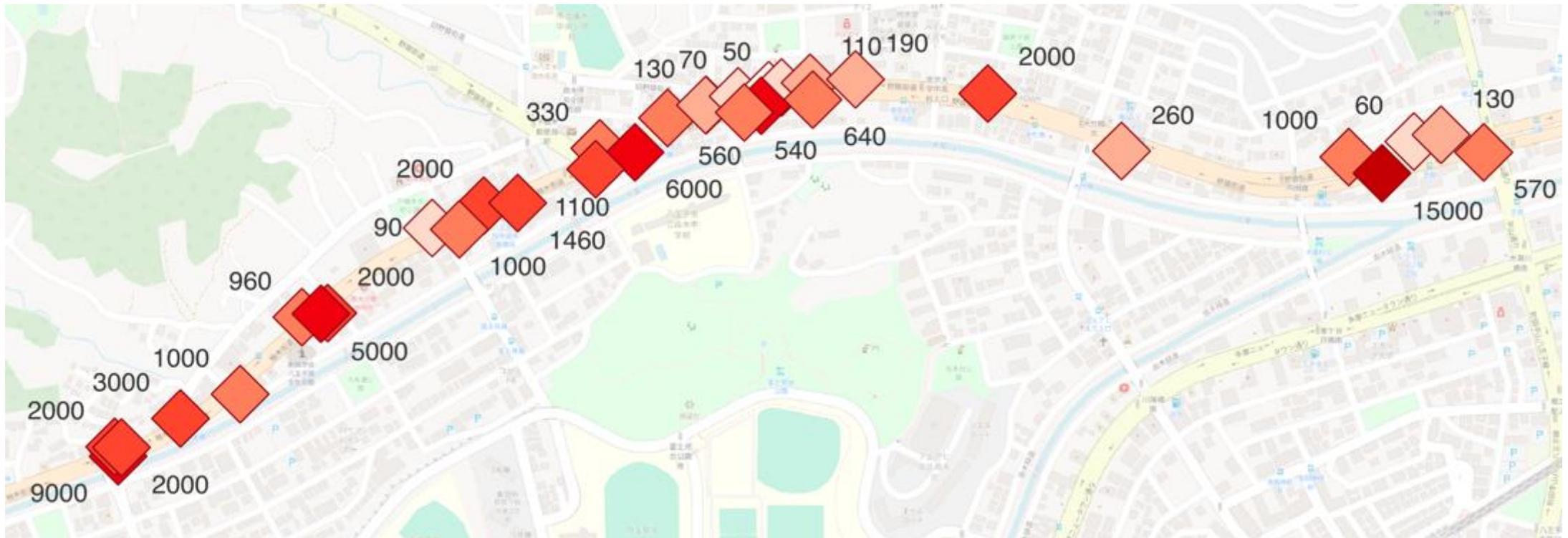
交叉点付近は看板が集中しやすい傾向がある。

	道路延長 (km)	看板数 (件)	密度 [看板数(件)/道路延長(km)]
交叉点付近	0.877	17	19.4
全体	2	34	15.6



分析-3 実際の店舗位置との関係

- 看板の設置位置と実際の店舗位置の道路距離をGoogle Mapを用いて計測した。
- 下柚木方面に向かうほど、遠くのものを示す看板が増える。



分析-3 実際の店舗位置との関係



- 徒歩到達圏を800mとして、看板から800m以内に店があるものを青、看板から800m以遠に店があるものを赤で示した。
- 徒歩圏内看板は、野猿街道合流点付近に集中していた。
- 該当地域は電柱看板が多く、電柱看板が近距離の案内に利用される傾向が高いことが示唆される。

分析-3 実際の店舗位置との関係

- 一方で、小野田石材店（店舗まで15km）、龍泉寺の湯（店舗まで6km）、リロの賃貸多摩センター店（店舗まで5km）をはじめとして、電柱広告であるが店舗までの距離が遠いものがそれなりに見受けられる。
- そしてそれらは下柚木2丁目に多く分布する。（なぜ？推論は立っていない）
- なお、独立看板である**大田平橋のきぬた歯科看板**からきぬた歯科までの距離はおよそ9kmである。

分析-EX 駅前に店舗を持つ看板の最遠点

- **調査範囲内**で、南大沢駅前店舗を持つ看板で最も遠いものは**このメンタルクリニック**で、堀之内駅からも等距離である。
- 同じく堀之内駅からは、**クリニック高田**の看板で、堀之内駅から1300mであった。
- 堀之内駅の方が影響範囲が小さい可能性がある。



まとめ

- 看板分布は**3つのエリア**に分かれている。
- 方向別の差異はあまり見られない。
- 看板種類別では、**独立看板は下柚木**に集中しており、**電柱看板は越野**の野猿街道合流点付近に多い。
- 信号機に近いところには看板が多く存在する。

Fin.

- 参考情報：多摩地区では、**3,080円（税込）**から電柱広告を掲示可能（東電タウンプランニング）。
→**真の自己PR**におすすめ。
- プレゼン資料中、出典のない写真はすべてGoogleストリートビューより引用しています。

おわり